

目次

Unit 1	学習院大学 I	4	Unit 11	法政大学 I	84
Unit 2	学習院大学 II	12	Unit 12	法政大学 II	92
Unit 3	明治大学 I	20	Unit 13	関西学院大学 I	100
Unit 4	明治大学 II	28	Unit 14	関西学院大学 II	108
Unit 5	青山学院大学 I	36	Unit 15	関西大学 I	116
Unit 6	青山学院大学 II	42	Unit 16	関西大学 II	125
Unit 7	立教大学 I	50	Unit 17	同志社大学 I	136
Unit 8	立教大学 II	58	Unit 18	同志社大学 II	147
Unit 9	中央大学 I	68	Unit 19	立命館大学 I	156
Unit 10	中央大学 II	76	Unit 20	立命館大学 II	164

「解答解説編」について

解答 太字体で示しました。

解説 次のようなコラム・チャート等を盛り込み、正解への道筋を詳しく丁寧に解説し、自学自習にふさわしいものとなりました。

解法フォーカス 設問を解く際に有効なルールやテクニックを紹介しました。

文構造にフォーカス 英語長文中で誤り易い複雑な文構造を明らかにし、読解の一助となるよう解説しました。

語句 英語長文中の単語・熟語等を取り上げ、文に即した日本語訳を掲載しました。

全訳 原文に忠実な、分かり易い日本語訳を心がけました。

Unit 1 学習院大学 I

【1】 経済

解答

- A. (ロ) B. 進歩の測られ方を再考するという目的。(18字)
 C. (ロ) D. goal E. (ハ) F. (イ)
 G. GDP はまた、お金の誰のところに行こうとも、同じように扱う。
 (30字)
 H. (ハ) I. (イ) J. (ロ) K. (ロ), (ハ)

解説

A. (イ) case [kéis] (ロ) cat [kæt] (ハ) coat [kóut] (ニ) cure [kjúə]

下線部① accurate は [ækjərət] と発音するので、(ロ)を選ぶ。

B. a committee ① set up by the President ② to reconsider the way

progress is measured

下線部①は過去分詞句、②は to 不定詞句である。いずれも前に置かれた名詞「a committee」を修飾している形容詞的用法。②は①を修飾している副詞的用法と考えることもできるが、いずれにしろ「a committee」の目的を表しているのだから、②を20字以内で和訳すればよい。

C. (イ)「未来の世代の健康の重視」 (ロ)「幸福に基づく発展の測定」 (ハ)「生産に焦点を当てた測定システム」 (ニ)「自分の幸福に視点を据えている人」

(3) one focused on the well-being of current and future generations

「現在と未来の世代の幸福に焦点を当てたそれ (=測定システム)」この意味に最も近いものは(ロ)である。one は to の直前の measurement system (測定システム)を指す。a shift of ~ from A to B で「~の A から B への移行」。下線部では one を focused 以降の過去分詞の形容詞的用法 focused on ~ (～に焦点を当てた) が修飾し、さらに well-being (幸福) を of 以下が修飾している。

D. objective = 「目的、目標」の意味なので、同意語は object, goal, aim, design, purpose などが考えられる。本文中に出ているのは goal (最終段落・第2文)である。

E. (イ)「GDP は国内のすべての商取引の合計なので、何人の人が無料コン

サートを楽しむかに従って変わり得る。」 (ロ)「環境被害はたとえそれが結果として商取引になったとしても GDP を減らすだろう。」 (ハ)「GDP は人々に害を与えるものと人々を幸福にするものとの違いを一切反映しない。」 (ニ)「GDP は国民がその商取引によってどれくらい幸福になれるかと大いに関係がある。」

下線部⑤は「GDP を主要な経済指標として使うことの主な問題」という意味。第4段落の第2文には、「それは音楽や医薬品を評価するのと同じように銃や刑務所を評価する」とあり、その後には石油の流出 (=人々に害を与えるもの) の除去作業費が GDP を増やした一方で、無料のコンサートやボランティア活動など (=人々を幸福にするもの) は経済 (=GDP) に反映されていないことが述べられている。したがって、(ハ)が合致する。

F. (イ)「ますます多くの人々が職を失っているからである。」 (ロ)「GDP が増えることを誰も予測していないからである。」 (ハ)「人々は GDP が間もなく増えるだろうと信じているからである。」 (ニ)「失業率は経済を測定するものではないからである。」

第5段落の第2文に「失業率は今世紀最高の水準にまで上昇し、さらに上がり続けると予測されている」とあり、下線部⑥の直前には「人々の生活に対する経済の影響を反映する諸指標によれば」とある。この「諸指標」には失業率も当然含まれている。したがって(ハ)が最も適切と考えられる。

G. GDP also treats money the same no matter whom it goes to.

(S) (V) (O) (副詞) (S') (V')

文の中心となるのは SVO の文。ここでは the same は「同じように」という意味の副詞として使われている。no matter whom は「誰 (のところ) に～しようとも」という譲歩を表す複合関係詞の働きをしている。つまり、前後の文をつなぐ接続詞としての働きと、goes to の後に続く目的語のような働きである。「GDP はまた、お金の誰のところに行こうとも、同じように扱う。」(30字)とまとめればよい。

H. (イ)「そして」 (ロ)「しかし」 (ハ)「どのようにして～か」 (ニ)「いつ～なのか」

空所を含む文は第7段落・第2文「中米の小さな国コスタリカが、一人当たりの GDP が米国の4分の1の規模であるにもかかわらず、米国よりも平均余命と幸福度合いが高いことが (X) 可能なのだろうか」。この文を含めた前後の文脈の中で考える。(イ)、(ロ)では前の文(第1文)とつながらない。また、この後の文から(ハ)のように時を話題にしているのではないことは明らかである。(ハ)を選べば文脈に合う。

- I. (イ)「物質的な条件が人の幸福に常に結びついているというわけではない」
 (ロ)「物質的な条件が必ずしも GDP に基づいているわけではない」 (ハ)「人々はどのような物質が欲しいかを定めることができない」 (ニ)「人々は自分たちの物質的な条件を常に決めるわけではない」

下線部(8)の前には「物質的な条件は人々にとって重要ではあるが」とあり、(8) they do not determine everything の後は、「ずっと重要なのは友人、地域社会、健康、希望であり、自分の時間をどのように使うか、自分が尊重されていると感じているかどうかである」となる。ここでは何が重要かという点において、Material conditions と people's friends, their community, ... valued が対比されている。したがって、(8)の they は文前半の material conditions を指していると考えるのが妥当であり、(8)は「物質的な条件がすべてを決定するわけではない」という意味になる。選択肢の中で最も意味が近いのは(イ)。not ~ everything (すべてを~というわけではない)、not always (いつも~とは限らない)、not necessarily (必ずしも~とは限らない) はどれも部分否定。

Far more important are people's friends, ... valued. ⇒倒置構文

(C) (V) (S)

- J. (イ)「肝心なものを獲得しようとする努力をすることのない幸福」 (ロ)「環境被害を生じさせることのない幸福」 (ハ)「強く安定した経済を伴う幸福」
 (ニ)「進歩を測る新しい方法を伴う幸福」

A strong stable economy is important, but only as one of several tools for achieving what matters: well-being for everyone which

doesn't destroy the planet. (9) This must surely be the goal for ~

This は直前に述べられた well-being ~ planet の部分を指す。well-being (幸福) という名詞を、for everyone (全員のための) と関係代名詞節 which doesn't destroy the planet (この惑星を破壊することのない) が後ろから修飾している。「この惑星を破壊することのない」は(ロ)の「環境被害を生じさせることのない」に、well-being は happiness に通じるので、これが正解。

- K. (イ)「最初から、GDP は国民所得を測るものとしては不十分であると考えられていた。」 第1段落の第2文に「GDP は大きな欠陥はあるものの、国民の富と健康を測る主要な方法となった」とある。最初から不十分だと考えられていたならば下線部のようにはならなかったので、一致しない。

(ロ)「サルコジ大統領は社会の進歩を測る別の方法を見出すために委員会を作った。」 第2段落・第2文に a committee set up by the President to reconsider the way progress is measured (発展を測定する方法を再考するために大統領によって設置された委員会) とある。この the President は前文の President Sarkozy を指しており、(ロ)と内容が一致する。

(ハ)「英国国民の81%は、政府は国民の幸福と同じくらいに国民の富にも多くの注意を払うべきだと考えている。」 第3段落の第3文に「英国では、…、国民の81%が政府の第一目標は『最大の富』ではなく国民の『最大の幸福』(the “greatest happiness” of its citizens, rather than the “greatest wealth”) であるべきだと考えている」とあるので、一致しない。

(ニ)「GDP は経済が国民生活に及ぼす影響を正しく反映していると多くの人が信じている。」 第3段落・第1文には、「委員会の最終報告は、『生産に重点を置いた』測定システムから現在と未来の世代の幸福に焦点を当てたそれへの重点の移行を強く推奨している」とある。また第4段落では、原油事故と GDP 上昇、無料コンサートやボランティアと経済の関係など、(ニ)とは逆のことが例として挙げられている。したがって一致しない。

(ホ)「アフリカの多くの人が1ドルを稼ぐのに必要なものは世界最大級の銀行の最高経営責任者らが1ドルを稼ぐのに必要なものと同じである。」 第6段落には、「世界最大級の銀行の最高経営責任者らにとっては、1ドル(=アフリカの労働者の1日分)を体をかかめて床から拾い上げる時間だけの価値すらないだろう」とあるので、一致しない。

(ヘ)「米国のGDPはコスタリカのそれよりもずっと高いが、米国の人々はコスタリカの人々ほど幸福だとは感じていない。」 第7段落・第2文に Costa Rica—has higher average life expectancy and higher levels of happiness than the U.S. (コスタリカは平均余命と幸福度が米国より高い)、having a per capita GDP one quarter the size (一人当たりのGDPでは米国の4分の1の規模) とあるので、一致している。

(ト)「委員会はフランス政府が強く安定した経済を作る第一歩を歩むべきだと提案した。」 委員会が勧めているのは第3段落・第1文の「『生産に重点を置いた』測定システムから…幸福に焦点を当てた測定システムへの移行」や第8段落の「幸福で持続可能な社会へと重点を移す、物質面での生活水準の代替基準」であり、(ト)とは一致しない。

解法フォーカス

本文の意味・内容を問う問題が主だが、発音、和訳なども散見される。下線部の言い換えを問うもの、理由の正誤を問うものなど多彩な設問形式があるが、基本的には下線部の前後の文脈を正確に読むことで、正解を得ることができる。選択肢の中に本文と同じ表現があっても、必ずしも本文の内容とは一致しないものがあるので注意する。

文構造にフォーカス

ll. 4-5 Deeply flawed though it is (), ...

倒置構文で、Though it is deeply flawed (それは深く傷がついているもの) = (大きな欠陥はあるものの) の意味。it はコンマの後の GDP を指す。

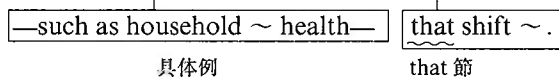
ll. 35-37 ... it wouldn't even be worth their time
to bend over to pick it up off the floor.

最初の it は形式主語で、to bend ... floor を指している。to pick it (= a dollar) up off the floor は目的を表す to 不定詞の副詞的用法。

ll. 46-50 ... the committee recommended that France find ~
(S) (V) (S') (V')

SVO の文型で、that 節全体が O である。recommend, require, suggest など提案・要求などを表す動詞の後の that 節の動詞部は (should +) 原形となることも確認しておこう。

~ replacement measures of material living standards



such as ~ は「～などの」という例示を表し、household ~ health が replacement measures of material living standards の具体例である。that は関係代名詞で先行詞は replacement measures of material living standards.

語句

indicator 「指標」 welfare 「幸福、福利」 flaw 「～に傷をつける、～を損なう」 well-being 「幸福、福利」 echo 「～をくり返す」 objective 「目標、目的」 ultimately 「結局(は)」 change hands 「所有者が変わる」 unemployment 「失業率」 sub-Saharan 「サハラ(砂漠)以南の」 chief executive officer (CEO) 「最高経営責任者」 assess 「～を査定する」 life

expectancy 「平均余命」 in recognition of ~ 「～を認めて」 replacement 「代替」 distribution 「分布、分配」 sustainable 「持続可能な」 statistics 「統計」

全訳

1934年、今日の国内総生産(GDP)経済指標の最初の開発者の一人が、「国民所得の評価によって国民の幸福を理解することはほとんど不可能である」と警告した。GDPは大きな欠陥はあるものの、国民の富と健康を測る主要な方法となった。しかし私たちは今、より正確な尺度の使用に向かいつつあるのかもしれない。

主要先進国の指導者であるサルコジ仏大統領は、社会の発展を測る方法において「大革命」を始める意向だと発表した。この発表は、発展を測定する方法を再考するために大統領によって設置された委員会の1年半にわたる調査の後に行われた。

委員会の最終報告は「『生産に重点を置いた』測定システムから現在と未来の世代の幸福に焦点を当てたそれ(測定システム)への重点の移行」を強く推奨している。委員会の結論は、多くのふつうの人々が感じることをくり返している。筆者の住む英国では、2006年の調査で、国民の81%が政府の第一目標は「最大の富」ではなく国民の「最大の幸福」であるべきだと信じていることがわかった。

GDPを主要な経済指標として使うことの主な問題は、結局、それが単に国内の全商取引の総計にすぎないということである。GDPは、どのくらいの高額の所有者が変わったかという観点から、音楽や医薬品を評価するのと同じように銃や刑務所を評価する。1989年にアラスカ沿岸で石油会社エクソンのタンカーが原油を流出させたとき、その除去作業の費用のおかげで、米国のGDPは20億ドル上昇した。しかし町の広場で無料コンサートが上演されたとき、あるいは親が学校の活動に参加したとき、ボランティアが慈善活動を手伝ったとき、経済には何の変化も起きていない。

ここ英国では、人々は景気後退の終焉について語り始めている、なぜならGDPが少し上昇すると見込まれているからである。しかし一方で、失業率は今世紀最高の水準にまで上昇しており、さらに上がり続けると予測されている。人々の生活に対する経済の影響を反映する諸指標によると、景気後退は始まったばかりである。

GDPはまた、お金が誰のところに行こうとも、同じように扱う。サハラ以南アフリカの人口の半分にとって、1ドルは1日の労働に相当する。しかし世界最大級の銀行の最高経営責任者(CEO)たちにとって、それ(1ドル)は

体をかがめて床から拾い上げる時間だけの価値すらないだろう。

そしておそらく、さらに根本的なこととして、GDPは人々の幸福を評価する方法を全く持っていない。中米の小さな国コスタリカが、一人当たりのGDPでは米国の4分の1の規模であるにもかかわらず、米国より平均余命と幸福度が高いことがどのようにしたら可能なのだろうか。物質的な条件は人々にとって重要だが、それらがすべてを決定するわけではない。ずっと重要なのは、友人、地域社会、健康、希望であり、自分の時間をどのように使うか、自分が尊重されていると感じているかどうかである。

こうした失敗を認めて、委員会は、フランスがGDPから幸福で持続可能な社会へと重点を移す、物質面での生活水準の代替基準——世帯収入、収入分布、教育や医療を受ける機会など——を見つけることを勧めた。

しかし、国の統計局でよりいいデータを得ることは最初の一步に過ぎない。我々の政治的指導者とその経済顧問らは、こうした新たな基準が新たな発展の定義に向けた第一歩でなくてはならないということを認識する必要がある。

強く安定した経済は重要だが、この惑星を破壊することのない全員のための幸福という肝心なことを獲得するための複数の手段の1つとしてにすぎない。これは確かにあらゆる社会の目標であるに違いないので、私たちはこれに向かっての発展を測定すべきである。英国の経済学者アンドリュウ・オズワルドは「経済上の物事は、それらが人々をより幸せにする場合に限り重要である」と語る。

[2] 理

解答

(1) (ハ) (2) (ニ) (3) (ハ) (4) (ニ) (5) (ニ)

解説

(1) 「すべての文化には、文字通りに別の文化に持ちこまれたときには全く意味をなさない成句やことわざがある。」

(イ) every ~ は単数扱いなので、has は問題ない。(ロ) make no sense 「意味をなさない、意味が通じない」も問題ない。(ハ) 接続詞 when の後にはSVが続くのがふつうだが、when節の主語と主節の主語が同じ場合は主語 + be動詞を省略できるので、後に分詞が続いていること自体は誤りではない。ただし、この節の主語は they、つまり phrases and proverbs であり、「成句やことわざが持ちこんでいる」とすると意味が通らないので carrying → carried として「持ちこまれる」という受動態表現にするのが適切。(ニ)

literally (文字通りに) は問題ない。

(2) 「たった2、3年前の世界地図や地球儀を持っている場合でも、おそらくご存じのように、そのいくつかの部分はすでに時代遅れのものになっている。」

(イ) that's = that is で、that はここでは a world map or globe (世界地図または地球儀) を先行詞とする主格の関係代名詞。先行詞が単数なので、be動詞 is も正しい。(ロ) 条件を表す If ~, then ... の then は省略されることも多いが、あっても誤りではない。(ハ) の主語は it ではなくて parts of it と複数なので、are は正しい。as you may know は挿入節。(ニ) day は out of date とすれば「時代遅れの、古くなった」の意味を表すイディオムになるが、out of day というイディオムはない。

(3) 「バンドエイド、コークそしてクリネックスのような商品名である多くの言葉が、しばしばまるでそうではないかのように大衆に使われている。」

(イ) は Many words を先行詞とする主格の関係代名詞で、誤りはない。(ロ) such as は ~ such as ... (…のような~) という意味で、例を挙げるときに使われる。ここでは Band-Aid, Coke and Kleenex が、brand names の例である。これも誤りはない。(ハ) the public は間違い。public (公衆、大衆) に -s をつけて用いることはない。(ニ) be動詞は were と過去形になっているが、as if ~ はここでは仮定法過去の文なので、正しい。

(4) 「クロスワードパズルは世界中で最も人気があり、広く行き渡っている言葉遊びだと言われているが、歴史は浅い。」

(イ) said は be said to ~ (～と言われている) という受動態を作る過去分詞で、正しい用法である。(ロ) widespread は「広く行き渡った」の意味を表す形容詞で、直後の名詞 word game を修飾している。(ハ) yet はここでは接続詞で、「それでも、しかし」の意味を表す。正しい使い方である。(ニ) has だが、この主語は Crossword puzzles (複数) なので、have としなければならない。... in the world, yet (they) have a short history. と補って読む。

(5) 「科学者は砂漠を、年間の雨量が10インチ未満で、またほとんど植物が育つことのできない地域であると定義している。」

(イ) as は define ~ as ... (～を…と定義する) という表現の一部で、誤りはない。(ロ) less than ~ は「～よりも少ない」の意味で、これも正しい。(ハ) per は「～につき」。per year (1年につき、年間) は a year / annually と言うこともある。(ニ) little は不可算名詞を修飾して「ほとんど～ない」という意味を表す語。可算名詞 plants の前では few とするべきなので、これが誤りとなる。